

キャリア教育の推進に係る調査研究事業

調査報告書

令和6年3月

株式会社ちばぎん総合研究所

目 次

(はじめに 本調査研究事業の目的と進め方)	1
第1章 千葉県の高校進学、高卒就職・離職に関する課題	2
1. 「高校進学の段階から全般的に普通科志向、文系志向が進む」	2
2. 「全国平均と比較して高校卒業者の就職率が相対的に低い」	3
3. 「全国平均と比較して高卒就職者の3年以内離職率が相対的に高い」 ..	3
第2章 課題の背景にある要因	4
1. 地域性や千葉県の産業構造に帰因する要因	4
2. 「キャリア教育に帰因する要因」	8
第3章 アンケート調査結果	10
1. 実施概要	10
2. 調査結果の概要（調査結果の全容については、別添の各アンケート調査報告書を参照のこと）	11
3. アンケート調査結果のまとめ	72
第4章 インタビュー調査結果	76
1. 企業インタビュー	76
2. 大学生インタビュー	82
3. 社会人インタビュー	91
4. 学校インタビュー	101
5. インタビュー調査結果のまとめ（キャリア教育の取組に関するもの） ..	104
第5章 仮説と仮説に対する検証	106
1. 課題の原因と考えられる仮説	106
2. 仮説検証	107
3. 仮説検証のまとめ	141
第6章 キャリア教育の施策の方向性に係る提案について	145
1. 協議会における主な意見と施策の方向性	145
2. 1以外に考えられる施策の方向性	158
参考資料	160

(はじめに 本調査研究事業の目的と進め方)

○少子高齢化、情報化の著しい進展といった社会環境の変化の中で、雇用形態においても終身雇用制からジョブ型雇用への移行、デジタル関連産業の伸長に合わせた働き方の変化といった状況が生じてきている。

こうした中で、本県においても、全国平均と比較して高校卒業者の就職率の低さや早期離職率の高さが課題となっており、発達段階に応じた系統的なキャリア教育の必要性が高まっている。

そのため、中学生、高校生と大学生を対象とした職業意識等に関する系統的な調査、社会人を対象とした自らのキャリアについての振り返りに関する調査、企業を対象とした高校生の雇用等についての調査等を行い、今後のキャリア教育における政策形成上の参考とするために「キャリア教育の推進に係る調査研究事業」（以下、「今回調査」という）を実施した。

○今回の調査の進め方としては、まず本県のキャリア教育に係る課題を整理した上で、その背景となる要因（具体的な課題）を抽出。学生・学校・企業に対するアンケート・インタビュー調査を行った後、調査結果に基づき、課題の原因となる仮説の検証を行う。最後に一連の調査結果に基づく政策提言を行うという流れで進める。なお、有識者等による「キャリア教育調査研究推進協議会」を構成し、本調査に係る全ての事項について協議し、その結果を踏まえて事業を進めることとした。

